

たてやま よしやす
立山 善康

Tateyama Yoshiyasu



一般総合科目 教授

研究者略歴

○生年月	1953年11月
○学歴	同志社大学文学部文化学科哲学及び倫理学専攻卒業(1977. 3) 同志社大学大学院文学研究科哲学専攻博士前期課程修了(1980. 3) 同志社大学大学院文学研究科哲学及び哲学史専攻博士後期課程単位取得満期退学(1986. 3)
○学位	文学士(同志社大学/1977. 3) 文学修士(同志社大学/1980. 3)
○主な職歴	京都造形芸術短期大学造形芸術学部専任講師(1987. 4) 京都造形芸術大学造形芸術学部専任講師(1991. 4) 京都造形芸術大学芸術学部助教授(1992. 4) 京都造形芸術大学芸術学部教授(1997. 4) 徳島文理大学文学部日本文学科教授(2002. 4)
○専門分野	哲学、倫理学、教育
○所属学会	Societas Philosophiae Doshisha(同志社大学哲学会) 日本デューイ学会 関西倫理学会 関西哲学会 日本イギリス理想主義学会
○担当授業科目	哲学A(文) 哲学A(香菓) 哲学A(理工・保健福祉) 哲学B 倫理学A 倫理学概論 教育原理 道德教育 教育社会学 教育課程総論 生涯学習概論 図書館基礎特論
○現在の研究	ジョン・デューイの教育・社会・芸術思想に関する研究 ケアの倫理に関する研究

主な業績

○主な学会 ・社会活動等	
○主な研究論文 ・著書等	<ol style="list-style-type: none">① 現代倫理の課題、関西倫理学会編、晃洋書房(1990. 4)、担当部分：「実践的課題としてのケアリングについて」(PP. 69-83)② アメリカ教育哲学の動向、杉浦 宏編、晃洋書房(1995. 7)、担当部分：「正義とケア」(PP. 348-364)③ 日本の戦後教育と デューイ、杉浦 宏編、世界思想社(1998. 11)、担当部分：「市民としての教師—聖職者・労働者・専門職としての教師像を超えて」④ 現代デューイ思想 の再評価、杉浦 宏編、世界思想社、(2003. 6)、担当部分：第2章第1節「ヴィジョンとしてのデューイ哲学」(PP. 73-83)⑤ ケアリングの現在—倫理・教育・看護・福祉の境界を超えて、中野啓明、伊藤博美、立山善康編著、晃洋書房、担当部分：第12章「生命倫理とケアリング」(PP. 143-156)、第15章「高ケア社会の展望」(PP. 188-202)⑥ 現代哲学の真理論：ポスト形而上学時代の真理問題、監修：吉田謙二 編著：加賀裕郎、隈元泰弘、立山善康、世界思想社、2009. 3、担当部分：第5章第1節「ボラニーの『暗黙知』における『知』のダイナミズム」(pp. 174-186)⑦ 日本のデューイ研究と21世紀の課題：日本デューイ学会設立50周年記念論集、日本デューイ学会、世界思想社、担当部分：第1部第4章「デューイの自然主義的芸術論」(pp. 57-68)⑧ 人間の尊厳と自立／社会の理解（介護福祉士養成テキスト第1巻）、人間の尊厳と自立／社会の理解（介護福祉士養成テキスト第1巻）、法律文化社、(2014. 7)、担当部分：第1章第1節1はじめてに、(1) (4) (pp. 3-8, pp. 20-24)